

別紙

株式会社 ナガト 海田工場 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ナガト 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町月見町9番9号

(3) 業種

金属熱処理業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は平成23年度（2011年度）を基準年度とし、平成24年度（2012年度）から平成28年度（2016年度）の5年間とする

3 計画の基本的な方向

（株式会社ナガトISO14001環境マニュアルの環境方針より抜粋）

環境方針

1. 省エネルギーにより地球環境を保護し、地域社会との調和を図り、常に省資源に努める。
2. 清らかな環境を求め、継続的に改善し、人に優しいクリーンな企業づくりに徹する。

行動指針

- (1) 当社は金属熱処理加工及びプラスチック成形等の事業活動において、環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守し、環境影響への負荷を低減します。
- (2) 地球環境及び地域社会との調和を考慮し、土壌汚染の予防、ガス・電気を有効的に活用すると同時に、環境保全に努め、廃棄物の削減と処理を、責任を持って確実にこなします。
- (3) 環境マネジメントシステムに基づき、環境に関わる教育により全員の環境意識の向上を図り、1人ひとりが徹底して環境管理活動の推進を図ります。
- (4) 環境目的、目標を定め、定期的に見直しを行ない、目標達成、環境への負荷低減に向けて、環境マネジメントシステムの継続的改善を行ないます。
- (5) この方針は、文書化し、実行、維持して当社の従業員及び取引先に周知させるとともに、一般の人より要求があれば文書を提供します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成23年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	燃料の使用		5,641	5,641
合 計			5,641	5,641

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素	(該当なし)			
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン	(該当なし)			
一酸化二窒素	(微量のため未記入)			
HFC PFC SF ₆	(該当なし)			
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)	削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5,641	1	56	5,585
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	0.1%/年の削減			

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成29年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	稼働率の向上	0.1%/年削減	空炉時間の削減, 操業形態の見直し
2	燃焼条件の見直し	0.1%/年削減	排ガス酸素濃度の測定による燃焼調整の実施
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	(導入予定なし)	
2		
3		

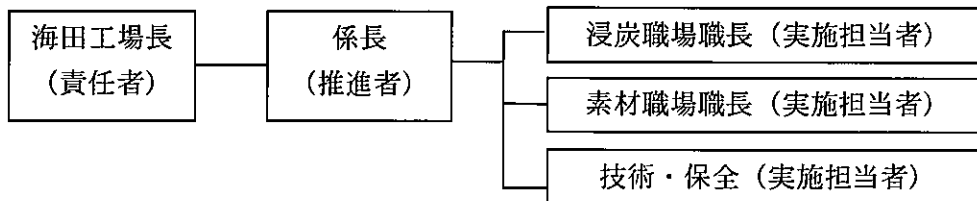
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	事務所等照明電力量低減		不要・不在時の消灯の徹底
2	事務所等空調電力量低減		不要・不在時の運転停止と設定温度の見直し
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

月1回の工場全体会議において年間の省エネ活動等の取組み・実施状況を報告し、年1回その結果を総括して新たな取組みアイテム等を検討する。

(3) 計画書等の公表

当該事業所に備え付け閲覧可能な状態とする。